学校番号	111

令和２年度　英語科

教科	英語科	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	Power On English Communication Ⅱ（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのために読んだり、聞いたりしたことを基に情報や自分の考えなどについて話したり書いたりする言語活動を積極的に行います。授業では主体的に活動に参加しましょう。
・英語の文法や語彙について英語のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを常に意識して学習してきましょう。
・音読は外国語学習において相手に自分の意思を伝えるためにも非常に大切です。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にしっかりと伝わるよう音読を心がけてください。
・授業は分からないことを解決する確認の場です。確認するためには予習が必要不可欠です。自分自身の能力を高めるためにも予習は怠らないでください。

2　学習の到達目標

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、副教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価	学習到達目標	評価
・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。 ・基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできる、できないなど日常的な事柄についてやり取りをすることができる。	・プレゼンテーション	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、クリスマスカードなどのメッセージカードを書くことができる。 ・趣味や特技などについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。	・ライティング課題 ・定期考査	・ゆっくりはっきり発話される基本的な英文を一文聞き取った後、リピートすることができる。 ・ゆっくりはっきり発話されれば、自分自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることができる。	・リスニングテスト	基本的な語句や表現から構成される一～三文程度の英文を文法事項の知識も活用して内容を的確に読み取り音読することができる。 ・日常生活で使われる短い文章（メールなど）を理解することができる。	・定期考査

3　学習評価(評価規準と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson1 (6時間)	スマートフォンで写真を撮ることが記憶に与える影響について考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・スマートフォンで写真を撮ることが記憶に与える影響について積極的に話す。	・各セクションを読む前に、知っている情報や考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・スマートフォンで写真を撮ることが記憶に与える影響について自分の意見を書く。	・セクションごとに、興味を引かれたことについて、ワークシートに英語で書く。	・スマートフォンで写真を撮ることが記憶に与える影響について自分の意見を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・スマートフォンで写真を撮ることが記憶に与える影響について聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともにその内容を理解する。	・スマートフォンで写真を撮ることが記憶に与える影響について聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・スマートフォンで写真を撮ることが記憶に与える影響について理解する。 ・形式主語 It について ・関係代名詞 what について ・現在完了進行形について理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・スマートフォンで写真を撮ることが記憶に与える影響について理解している。 ・形式主語 It について ・関係代名詞 what について ・現在完了進行形について理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson2 (6時間)	エシカルファッションとファストファッションの違いを理解し自分の意見をまとめる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・エシカルファッションとファストファッションの違いを理解し自分の意見を積極的に話す。	・各セクションを読む前に、知っている情報や考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・エシカルファッションとファストファッションの違いを理解し自分の意見を適切に書く。	・セクションごとに、興味を引かれたことについて、ワークシートに英語で書く。	エシカルファッションとファストファッションの違いを理解し自分の意見を適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			

		・エシカルファッションとファストファッションの違いついて聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともにその内容を理解する。	・エシカルファッションとファストファッションの違いついて聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・エシカルファッションとファストファッションの違いを理解する。 ・助動詞のある受動態 ・強調構文 ・S+V+O の O の位置に疑問詞+不定詞がくる場合 について理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・エシカルファッションとファストファッションの違いを理解している。 ・助動詞のある受動態 ・強調構文 ・S+V+O の O の位置に疑問詞+不定詞がくる場合 について理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson3 （ 6時間）	ランドフィル・ハーモニックというバンドについての英文を読むことを通じパラグアイのカテウラの人々の暮らしを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ランドフィル・ハーモニックというバンドについての英文を読みパラグアイのカテウラの人々の暮らしについて積極的に話す。	・各セクションを読む前に、知っている情報や考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		ランドフィル・ハーモニックというバンドについての英文を読みパラグアイのカテウラの人々の暮らしについて適切に書く。	・セクションごとに、興味を引かれたことについて、ワークシートに英語で書く。	・ランドフィル・ハーモニックというバンドについての英文を読みパラグアイのカテウラの人々の暮らしを適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ランドフィル・ハーモニックというバンドについての英文を読み、パラグアイのカテウラの人々の暮らしを理解し概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともにその内容を理解する。	・ランドフィル・ハーモニックというバンドについての英文を読み、パラグアイのカテウラの人々の暮らしを理解し概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ランドフィル・ハーモニックというバンドについての英文を読みパラグアイのカテウラの人々の暮らしを理解する。 ・関係副詞where ・過去完了形 ・使役動詞 について理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・ランドフィル・ハーモニックというバンドについての英文を読みパラグアイのカテウラの人々の暮らしを理解している。 ・関係副詞where ・過去完了形 ・使役動詞 について理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson4 （ 7時間）	スコットランドの地理的特徴や文化を理解し、日本との関連について理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・スコットランドの地理的特徴や文化を理解し、日本との関連について積極的に話す。	・各セクションを読む前に、知っている情報や考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・スコットランドの地理的特徴や文化を理解し、日本との関連について適切に書く。	・セクションごとに、興味を引かれたことについて、ワークシートに英語で書く。	・スコットランドの地理的特徴や文化を理解し、日本との関連について書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・スコットランドの地理的特徴や文化を理解し、日本との関連について理解し、概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともにその内容を理解する。	・スコットランドの地理的特徴や文化を理解し、日本との関連について理解したり、概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・スコットランドの地理的特徴や文化を理解し、日本との関連について理解する。 ・関係代名詞の非制限用法 ・知覚動詞 ・seem（～のように思える） の使い方を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・スコットランドの地理的特徴や文化を理解し、日本との関連について理解している。 ・関係代名詞の非制限用法 ・知覚動詞 ・seem（～のように思える） の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson5 （ 7時間）	海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について積極的に話す。	・各セクションを読む前に、知っている情報や考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について適切に書く。	・セクションごとに、興味を引かれたことについて、ワークシートに英語で書く。	・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について理解し概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともにその内容を理解する。	・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について理解し概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について理解する。 ・分詞構文 ・倍数表現 ・非制限用法の which の使い方を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・海藻が世界の国々で評価されている理由や海藻の効能について理解している。 ・分詞構文 ・倍数表現 ・非制限用法の which の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson6 （ 7時間）	野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点を知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について積極的に話す。	・各セクションを読む前に、知っている情報や考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について適切に書く。	・セクションごとに、興味を引かれたことについて、ワークシートに英語で書く。	・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について適切に書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともにその内容を理解する。	・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について理解する。 ・進行形の受け身 ・It appears + that 節～「～のように思える」 の使い方を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・野菜工場での野菜の作り方や野菜工場の利点・欠点について理解している。 ・進行形の受け身 ・It appears + that 節～「～のように思える」 の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson7 （ 7時間）	色の視覚的効果と心理的効果について理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・色の視覚的効果と心理的効果について積極的に話す。	・各セクションを読む前に、知っている情報や考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			

		・色の視覚的効果と心理的効果について適切に書く。	・セクションごとに、興味を引かれたことについて、ワークシートに英語で書く。	・色の視覚的効果と心理的効果について書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・色の視覚的効果と心理的効果について聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともにその内容を理解する。	・色の視覚的効果と心理的効果について理解したり、概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・色の視覚的効果と心理的効果について理解する。 ・同格を表す接続詞 that ・前置詞＋関係代名詞 ・関係代名詞 whose の使い方を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・色の視覚的効果と心理的効果について理解している。 ・同格を表す接続詞 that ・前置詞＋関係代名詞 ・関係代名詞 whose について理解している	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson8 （ 7時間）	卓球の平野選手と伊藤選手の経歴と成功するために大切だと考えていることについて読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・卓球の平野選手と伊藤選手の経歴と成功するために大切だと考えていることについて積極的に話す。	・各セクションを読む前に、知っている情報や考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・卓球の平野選手と伊藤選手の経歴と成功するために大切だと考えていることについて適切に書く。	・セクションごとに、興味を引かれたことについて、ワークシートに英語で書く。	・卓球の平野選手と伊藤選手の経歴と成功するために大切だと考えていることについて書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・卓球の平野選手と伊藤選手の経歴と成功するために大切だと考えていることについて聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともにその内容を理解する。	・卓球の平野選手と伊藤選手の経歴と成功するために大切だと考えていることについて、聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・卓球の平野選手と伊藤選手の経歴と成功するために大切だと考えていることについて理解する。 ・付帯状況を表す with ・副詞節の主語と be 動詞が省略される場合 ・to+have+過去分詞 ・助動詞+have+過去分詞 の使い方を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・卓球の平野選手と伊藤選手の経歴と成功するために大切だと考えていることについて理解している。 ・付帯状況を表す with ・副詞節の主語と be 動詞が省略される場合 ・to+have+過去分詞 ・助動詞+have+過去分詞 の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson9 （ 7時間）	カーシェアリングや自転車シェアリングなどシェアリングが日本や世界でどのように広まっているのかを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・カーシェアリングや自転車シェアリングなど日本や世界で広まっているシェアリングについて考えていることを積極的に話す。	・各セクションを読む前に、知っている情報や考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・カーシェアリングや自転車シェアリングなど日本や世界で広まっているシェアリングについて適切に書く。	・セクションごとに、興味を引かれたことについて、ワークシートに英語で書く。	・カーシェアリングや自転車シェアリングなど日本や世界で広まっているシェアリングについて書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・カーシェアリングや自転車シェアリングなど日本や世界で広まっているシェアリングについて、聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともにその内容を理解する。	・カーシェアリングや自転車シェアリングなど日本や世界で広まっているシェアリングについて、聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・カーシェアリングや自転車シェアリングなど日本や世界で広まっているシェアリングについて理解する。 ・強調表現 ・It is said that…「～と言われている」 ・形式目的語it ・過去完了進行形 の使い方を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・カーシェアリングや自転車シェアリングなど日本や世界で広まっているシェアリングについて理解している。 ・強調表現 ・It is said that…「～と言われている」 ・形式目的語it ・過去完了進行形 の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson10 （ 7時間）	太陽のエネルギーを利用して調理をするソーラークッカーについて学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・太陽のエネルギーを利用して調理をするソーラークッカーについて積極的に話す。	・各セクションを読む前に、知っている情報や考えていることを、ワークシートに基づいて、ペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて、知っている情報や考えていることを、間違うことを恐れず、積極的に話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・太陽のエネルギーを利用して調理をするソーラークッカーについて英文を書く。	・セクションごとに、興味を引かれたことについて、ワークシートに英語で書く。	・太陽のエネルギーを利用して調理をするソーラークッカーについて英文を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・太陽のエネルギーを利用して調理をするソーラークッカーについて、聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉える。	・セクションごとに、関連した画像などを見ながら読み、イメージとともにその内容を理解する。	・太陽のエネルギーを利用して調理をするソーラークッカーについて、聞いたり読んだりしたことを理解したり、概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・太陽のエネルギーを利用して調理をするソーラークッカーについて理解する。 ・be 動詞＋不定詞 ・wish+仮定法過去 ・関係副詞 where の非制限用法 ・関係副詞 when の非制限用法 の使い方を理解する。	・本文で用いられている意味や用法を確認する。	・太陽のエネルギーを利用して調理をするソーラークッカーについて理解している。 ・be 動詞＋不定詞 ・wish+仮定法過去 ・関係副詞 where の非制限用法 ・関係副詞 when の非制限用法 について理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身についているかを判断する。